

平成31年2月6日

北海道農業者サロン
会員各位

北海道農業者サロン
理事長 喜多 俊晴

「総会及び春期研修会」開催のご案内

先般（1月21日）、事前開催案内をご通知させていただきました「総会及び研修会」詳細のご連絡です。

万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

平成最後の新春を会員皆様どのように迎えられたのでしょうか。

道央圏は、今年も雪と風に悩まされ、ご苦労されていると聞きますが、オホーツク方面はほとんど雪も降らず、寒さもそれほどでもなく静かなスタートです。

翻って、レーダー照射でとどめとも言える日韓の問題、北朝鮮と中国、韓国、そしてトランプ率いるアメリカの問題、トランプは国境の壁の問題どこまでやるのかな。

北方領土とロシア、プーチンとの問題、ゴーンと日産、ルノーそしてフランスとの問題、イギリスEU離脱に関する英議会の問題、どれも日本が議論に入れてもらっているのか…心配になります。

TPP11、日・EU・EPAの問題、日本農業のこれからのことは誰かが本当に考えてくれているのでしょうか。

どの問題も日本に、我々の生活に大きく影響することでしょう。

4月には統一地方選挙、現知事の意向は早くから示されているのに、与党も野党も、次は北海道知事にどなたが名乗りを上げるのでしょうか。

スマート農業、ロボット農業、IoT、新しい時代の幕開けのような触れ込みですが、結局は人手不足をどうするのが根底に。農業の技術の話ではないですね。

なぜ私たちは、農業にこだわり北海道にこだわり、大地にしがみつき農業をやっているのでしょうか。

北海道農業者サロンは平成から新しい時代に向けてどう舵を取っていくのでしょうか。

混沌としたこの新春、雪解けまでのわずかな時間、みんなで考えましょう。

1月、BSワールドニュースでフランスから二つの面白い話題がありました。

1/9 フランスF2「西アフリカ ベナン、ニームの種から殺虫剤を」とのテーマ。

センダン科 インドセンダン「ニーム」の種子をキロ20円で600トン、ベナンに工場を設立して二種の殺虫剤を製造、安全で経済的殺虫剤として注目を集め、サラダ菜など栽培300件うち1/3は収量増、腰や腹部が痛む合成殺虫剤使用から逃れられると近隣の国からも注文が殺到で工場はフル稼働、増設も計画、事業化はニームの研究者との報告です。

スーダンでのイナゴ大襲来に緑々と残ったニーム、その原因研究は、家の蚊・蛾・白蟻や家庭菜園での虫除けに利用されてきた「村の薬局」を、アザディラクチン、サラニンなどのトリテルペル誘導体＝リモノイド化合物の害虫忌避、害虫摂食阻害（餓死）、孵化制御（成長抑制）などの性質に着目され、効果に富む殺虫剤の地位を確実にしています。

ヨトウ、メイガ、マメシクイガなどの鱗翅目昆虫やカメムシなど半翅目昆虫を中心に野菜などに被害を与える200種の害虫に対し強力な殺虫活性及び摂食阻害活性効果が報告されています。植物を食べる昆虫のみ影響され、ミツバチ等の益虫は本質的に害を受けることなく、光と水に曝らされると100時間以内に分解され、哺乳類には実質的に無害との報告です。

ニーム種子核のアザディラクチン濃度は平均2-4 mg/gでオイルに、殻は肥料、抽出滓はニームケーキとしてセンチュウ、ネキリ、ヨトウなど土壌害虫対策、放線菌に有効との性質を利用し土壌を豊かにするため浅く撒くと指導されています。

リモノイド化合物でよく知られているのはミカン科 キハダ（黄檗）の内皮を乾燥して得られたオウバク（黄柏）に含まれるオバクノン、ノミリンが優れた摂食阻害活性を持つ防虫剤として、古来から米のクソゾウ除けや長期保存公文書用紙「黄紙」の作成に利用されましたが、なにしろ抽出成分ベルベリンのヒトへの医薬的効果に圧倒されました。健胃整腸・止瀉・眼病洗眼・抗菌・血圧降下・解熱薬として奈良吉野「陀羅尼助(だらにすけ)」、山陰では「煉熊(ねりくま)」、長野御嶽「百草丸」などに利用され、ブナから蒸留された木クレオソートと組み合わせられた大幸薬品「正露丸」は旅行に必携です。

柳の樹皮抽出サルチル酸からのアスピリン、芥子の果殻からの浸出物アヘンから精製されるモルヒネと当該ベルベリンには、植物がヒトに与えた三大贈り物として賞賛されています。

ニームにしても、ニンビン類などの抗炎症・抗細菌・抗真菌・抗原虫などの殺菌、解熱、鎮痛などヒトへの医薬的効果に目を奪われていました。近年はミカン科、センダン科の柑橘類に含む強力な苦味成分リモノイド類のリモニン、ノミリン、成熟により減少するノミリン酸、イチャンギンなどの発ガン予防、解毒酵素活性化、高コレステ・中性脂肪の抑制、特にノミリンは遺伝子発現制御に関与する生理活性物質として認知された胆汁酸機能を模倣する化合物として、胆汁酸受容体を介して血糖値の顕著な低下、体重増加抑制（抗肥満効果）を発現することに注目が集まっています。オバクノンの後肢骨格筋の重量増加などノミリンからオバクノン、リモニンへの代謝にも感心が集まり、夏柑種子、柚子種子からのオイルが抽出され、メラニン生成抑制（美白）、線維芽細胞増殖や皮膚のターンオーバー促進など美容医薬としての報告も散見されます。太陽化学総研でのヤマトシロアリの摂食阻害性はオバクモン、ノミリンが強く、リモニン、アザディラクチンは弱いと報告があります。

シロアリはセルロース消化性昆虫で前者は大型腸内共生原虫の密度が低下していると考えられますが楽しい報告です。それにしてもこの会社は「オバクノン、リモニン、ノミリン、デオキシリモニン、デアセチルノミリン、リモネキシ酸の1種及び2種以上を含有せしめることを特徴とする害虫防除剤」の特許を申請しているのが素敵です。

パッションフルーツの種子から生まれたピセアタンノール、シークワァーサーやポンカン
の果皮からのノビレチン、ナナカマドの実のソルビン酸、トウシキミの果実・八角のシキミ
酸からのインフルエンザ薬タミフル、植物の防御物質＝ファイトアレキシンについてもう
一度学びたいと思います。

北大水産科学研の宮下和夫教授が粉末状にした材料を食用油に漬け、50-70度の低温
での加熱により有効成分を取り出す技術を確認、大規模設備も不要、50%以上コストを減
らせると道新記事にありました。今少し若ければと思います。

1/16 AFD「除草剤ラウンドアップ、フランスで即日販売禁止にーフランス当局は15
日、安全性が問われている除草剤「ラウンドアップ」とその関連商品の販売を禁止したー」。

ラウンドアップに関しては会員 岩崎亜紀君より「毒性・発がん性、各国・各研究機関の
見解まとめ」、科学ライター 松永和紀氏の専門家コラム記事、日産化学工業(株)の資料、「種
苗大手は6強から4強の時代へー変わるGMO開発戦略ー」、読賣新聞記事「ゲノム編集
出遅れ日本」などの提示があり多少の予備知識があって、このニュースに接しました。

「2017年5月、中化工集団のシンジエンダ(スイス)買収」「2017年9月、ダウとデ
ュポンの合併」「2018年6月のバイエルのモンサント買収」と化学工業界の再編、2018
年8/10、米・サンフランシスコ裁判所陪審は、モンサント除草剤ラウンドアップ(業務用
製品レンジャープロ)が原因で悪性リンパ腫(非ホジキンリン腫)を発症したと訴えたドウ
エイン・ジョンソン氏に全員一致で原告の病気の実質的な原因は「ラウンドアップ(グリサ
ホート+界面活性剤)」にあり、懲罰的損害賠償金280億と補償的損害賠償金その他費用を
合わせ320億の支払を命じる評決が出されました。勿論、モンサントの声明は「ジョンソ
ン氏と家族に同情すると述べた一方、過去40年安全かつ効果的に使用され、農業経営者ら
にとって重要な役割を担うこの製品を引き続き精一杯擁護していく」と上訴の意向を示しま
した。

こんな背景でのフランスのこの決定は、欧州連合(EU)が2017年11月にグリホサ
ートの認可をさらに5年更新したのですが、フランスはマクロン大統領の2021年までグ
リホサートの使用を禁止するとの公約があったこともあり、南仏リヨンの行政裁判所が「規
制当局は安全上の懸念を考慮せず「ラウンドアップ」の販売許可を出した」とする判決を下
し、フランス食品環境労働衛生安全省(ANSES)が「販売は即日禁止された」との発表
をしました。なにやら政治的な感じもあります。

バイエルはドイツ創業で、EU内ではフランス・オランダ・イタリア・ドイツも反グリホ
サートだったのに、ドイツがモンサントの吸収で裏切りとの声もありました。

「2ヶ月しかたっていない不運な買収」「バイエル株価4割下がり4兆がすっ飛び」「最
悪の組み合わせー(NGO/Friends of the Earth)」、AFDは8/14に「今年モンサントを
買収したばかりのバイエルは、この大きな買い物を後悔することになるかも知れない」と報

道しています。ジョンソン弁護団の一員ロバート・ケネディ・ジュニアは「この評決を切っ掛けに、今後新たな裁判が次々に起こるだろう」と述べ、既に米国で 8,000 件、25 の弁護士法人で 150 人の弁護士が証拠を共通とし、原告と和解しようとするれば総額 1 兆 1,100 億以上の賠償を免れられないとコメントがあります。

農地や家庭の身の回りでも大量に使われているネオニコチノイドも本年 4 月より EU で禁止と聞きますが再び岩崎亜紀君に報告を依頼しました。

全農の資本比率が高くなったホクレンくみあい飼料(株)と小生旧知の雪印種苗(株)が、農業競争力強化支援法に基づく事業再編計画の認定申請をして、そのジャブジャブと金がある強化支援資金を利用して「ホクレンくみあい・雪印飼料(株)」と称する新会社を設立するとデジメが配布されているのですが、報道では「農業競争力強化支援による一」項は一切報道されません。とっても道新らしいですね。

種子法廃止と農業競争力強化支援法の危うさは、「売国以外にどのように表現すればいいのでしょうか」「公共財である日本の種が、外資を含めたビジネスへと変ります」とネットにいっぱい投稿され、小生も一読して驚いたのは自由報道協会 2019.01.17—山田正彦氏記者会見<種子法廃止の問題点>会見報告です。三井化学「みつひかり」、豊田通商「しきゆたか」、日本モンサント「とよのめぐみ」、住友化学「つくば SD」などのインディカ種改良 F1 を知っていますか。飼料米は 11 俵/反取らなければ補助は出さないなんてもう決まっているのですか。農研機構の久間和生理事長は元三菱電機副社長で育種担当者の民間出向開始などが報告されています。

1/25—27 山梨から訪れた梅津鐵市君から、「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業—低濃度エタノールを利用した土壤還元作用による土壤消毒—」資料の一部「金属イオンが病原菌におよぼす影響、二価鉄イオンや二価マンガンが殺菌作用に関与— ?マーク付き資料が転載されている土壤の還元化の判定、酢酸による二価鉄の殺菌作用の増大」などの資料を手渡され唸ってしまいました。この資料も農研機構 農業環境変動研究センターの資料です。春から岩見沢(株)三栄青果での玉葱畑での試験に立ち合うことになりそうです。

ちょっと戻って農業競争力強化支援法、農林中金総研の資料には「産業政策につながる第一の軸に加え、農業の多面的機能、農業の生産基盤となる農村を重視した政策の第二の軸、両方の軸を合せ車輪の両輪と呼ばれ、幅広い視野を持って農政は進められてきた。

近年の農業政策は競争力強化あるいは産業政策に偏っており、第二の軸が希薄化しているとありますから、この農林中金総合研究所 研究員 植田展大氏の資料の要旨、日本政策金融公庫の資料を加えます。

酪農の世界で話題の A2 ミルク、JA 中標津 乳製品工場で地域牛乳「なかしべつ牛乳」、95%生乳のコーヒー牛乳「なかしべつ珈琲」、飲むヨーグルト「ケフィアオーレ」、85%生乳の「紅茶牛乳」の製品に加え、A2 ミルク「なかしべつ牛乳プレミアム」の製造発売が始まりました。石狩当別のサージミヤワキ(株)のニュージーランド乳牛凍結精液の輸入販売を含めた A2 ミルクの応援をするパンフも確認しました。

「体調改善、乳製品市場に革命 豪 A2 ミルク」とは産経デジタルですね。

でも豪州・NZ 食品安全庁、オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関 (FSANZ)

はファクトシートで「A1、A2 2種のミルクの健康影響を比較できる入手可能な証拠を検討、いくつかの興味深い仮説がある一方、これを裏付ける十分な証拠がないとの結論」
「2009年に欧州食品安全機関（EFSA）も心臓病や糖尿病のような非伝染性疾患との間に
関連したペプチド、蛋白質前駆体とされうるものに因果は関係がないと結論づけた」とのシ
ート入手、喜多俊晴君から報告を期待します。

気候変動のニュース（道新 2/3）であった道内での「果樹栽培適地拡大」には、鶴見照子
君に弘前大 塩崎雄之輔教授開発、果実まで紅く美しい「紅(くれない)の夢」の苗木を幾本か
用意して頂きたいです。（長野中野市 吉家一雄氏の「なかの真紅」は中野市限定とかあるよ
うです）1本@2,100とか、あの小粒ぶどうとともに楽しみにしたいですね。

楽しみな総会にしましょう。

会場運営費は2,000円、新年会食事代3,000円程度をポケットに入れ参加ください。

文責 田中正夫

農林中金総合研究所 研究員 植田展大氏の資料

[別添のPDFでご確認ください。](#)

日本政策金融公庫の資料

https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/nogyokyosoryoku_kyoka.html

記

日 時：平成31年2月14日（月）13:00～17:00

場 所：札幌サンプラザ

札幌市北区北24条西5丁目

TEL 011-758-3111

注意事項：宿泊手配は各自でお願い致します。

札幌市内の宿泊予約が非常に難しくなっています。

早めのお手配をお願い致します。

以上

総会及び春期研修会参加申込書

(該当する□へ✓をお願いします)

参加する

参加会員名： _____

同行参加者名： _____

連絡先： _____

参加しない

会員名 _____

【2月11日(月)までに参加の有無を必ずご連絡ください。】

参加申込書  返信先： 03-3288-2555

坂井 あて

北海道農業者サロン事務局／(株)イーストウエスト東京事務所

〒102-0075 東京都千代田区三番町 7-5-105

☎：03-3288-1888 ：03-3288-2555

✉：salon@eastwest-tokyo.co.jp

富尾連絡先携帯：090-8598-9496